

◇国土交通省においては、本計画の各々の施策の推進状況を適切に把握するとともに、計画期間終了時には的確に評価を行い、さらに次の技術基本計画に反映していくこととする。(国土交通省技術基本計画 p.2)

## フォローアップの目的と手法

### (1) 目的

国土交通省技術基本計画(以下、「本計画」という。)で定めている平成20年度から24年度までの5カ年における取組について、中間年である22年度末時点における進捗・活動状況を把握し、今後の活動の改善に結びつけるものとする。

### (2) 手法

次の2点について実施主体へ調査する共に、計画全般的に外部関係機関へ意見聴取を実施する。

#### ① 目指すべき社会を実現するための技術研究開発

: 本計画に沿って実施してきた技術研究開発の実施状況を調査

**【調査項目】各技術研究開発の進捗状況、研究成果、研究体制、他の施策との関連**

#### ② 技術研究開発を推進するための仕組み(技術研究開発システム)

: 本計画に沿って実施してきた技術研究開発システムの取組状況を調査

**【調査項目】各関連施策内容の実績・進捗状況・今後の予定**

## フォローアップの対象

本計画に基づき、国土交通省及び関係研究機関等(国土技術政策総合研究所、国土交通政策研究所、国土地理院、気象庁気象研究所、海上保安庁総務部海上保安試験研究センター、海上保安庁海洋情報部、独立行政法人(土木研究所、建築研究所、交通安全環境研究所、海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所、電子航法研究所、鉄道建設・運輸施設整備支援機構)が自ら実施した技術研究開発、国土交通省と関係省庁、大学、民間等とが連携して実施した技術研究開発、及び技術研究開発を推進するための仕組みとしての各取組を対象とする。

### 1. 目指すべき社会を実現するための技術研究開発

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| (1)「安全・安心な社会に向けて」        | 個別課題数: 67件          |
| (2)「誰もが生き生きと暮らせる社会に向けて」  | 個別課題数: 24件          |
| (3)「国際競争力を支える活力ある社会に向けて」 | 個別課題数: 34件          |
| (4)「環境と調和した社会に向けて」       | 個別課題数: 50件 合計: 175件 |

### 2. 技術研究開発を推進するための仕組み(技術研究開発システム)

- (1) 技術研究開発の実施体制の整備 (技術情報交流の推進等 7施策)
- (2) 技術研究開発の支援 (研究段階、技術特性、実施主体に応じた助成等 8施策)
- (3) 技術研究開発成果の普及 (新技術活用システムの運用改善等 9施策)
- (4) 国際的な技術戦略の構築 (アジア等の海外研究機関との人材交流による国際貢献等 11施策)
- (5) 技術研究開発の基盤整備 (公共調達に関わる技術情報のデータベース等 12施策)
- (6) 技術研究開発のマネジメント (PDCAサイクルによるマネジメントの実施等 5施策)

